

# エコアクション21 環境経営レポート



対象期間 2023年3月～2024年2月

株式会社オザキ  
発行日: 2024年5月10日



# 目 次

1	環境経営方針	.....	1
2	組織の概要	.....	2
3	対象範囲	.....	2
	対象組織・活動範囲 対象期間		
4	機械設備	.....	3
5	環境管理実施体制（組織図）	.....	4
6	環境経営目標（単年度兼中期目標）	.....	5
7	環境経営計画とSDGs	.....	6
8	取組事例紹介	.....	7
9	2023年度環境経営目標結果・評価	.....	8
		.....	9
10	2023年度環境活動計画・SDGs活動実施結果・評価	.....	10
12	環境関連法規等の遵守状況の確認及び		
	違反、訴訟の有無	.....	11
13	代表者による全体評価と見直し・指示	.....	11



# 環境経営方針

## 1 環境理念

株式会社オザキは、地球環境の保全と改善を最重要課題として認識すると共に、世界共通の目標であるSDGsを認識し、これらに配慮した事業活動を推進します

## 基本方針

- 1) 事業活動に関連する環境影響について配慮するとともに環境における法規制・条例等の遵守を誓約し地球環境への負荷低減や環境社会貢献に取り組みます
- 2) 次の事項について環境目標・環境活動計画を定め取り組みを推進し、継続的改善を図ります
  - ・ 鋼板素材から販売まで、一貫した加工・販売体制を有効に生かし、省資源・省エネルギー（二酸化炭素排出量の削減）に取り組みます
  - ・ 3Rへの取組を積極的に推進し、資源の有効利用・廃棄物削減の実施と、クリーンな作業環境の構築により働き方改革に繋げる努力をします
  - ・ グリーン購入を通じて社会貢献推進します
- 3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます

改定日 2024年3月1日

株式会社 オザキ

代表取締役 尾崎 俊夫

## 2 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 オザキ
- 2) 代表者名 代表取締役 尾崎 俊夫
- 3) 所在地  
本 社（登記上）岐阜県大垣市東町2丁目121-5  
工場・事務所 〒503-1602  
住所： 岐阜県大垣市上石津町牧田2851  
TEL： 電話 0584-48-1067 FAX 0584-48-1066
- 4) 環境管理責任者 尾崎 真奈美
- 5) 連絡担当者 尾崎 真奈美  
e-mail: [oznmn@ozaki-steel.co.jp](mailto:oznmn@ozaki-steel.co.jp)

### 6) 事業規模

- 創業年月日 1989年4月26日
- 設立年月日 1989年
- 資本金 3000万円
- 従業員数 22人 2024年3月1日現在
- 売上 84,700 万円 (2023. 3～2024.2)
- 事業内容(概要) 薄板鋼板販売, シャーリング加工、レーザー加工
- 敷地面積 8458.75 m<sup>2</sup>
- 事業年度 3月1日～翌年2月末

## 3 対象範囲

### 【対象組織・活動範囲】

全組織、全活動を対象範囲とする。

### 【対象期間】

2023年3月～2024年2月(12ヶ月)



## 4 機械設備

### シャーリング

相沢鐵工所

MPS-312 3.2t×1280

MPS-320 3.2t×2060

MPS-525 4.5t×2550

A4-512 4.5t×1280

A4-625 6.5t×2550

AST-525 4.5t×2550(K)

AST-540 4.5t×4000

### レーザー

MAZAK ML4020GX-F40

25t×2000×4000



MAZAK SUPER TURBO X612 MK3

22t×2000×4000



### プレスブレーキ

相沢鐵工所 APM-11020 110t2M

相沢鐵工所 APL-13031 11kw

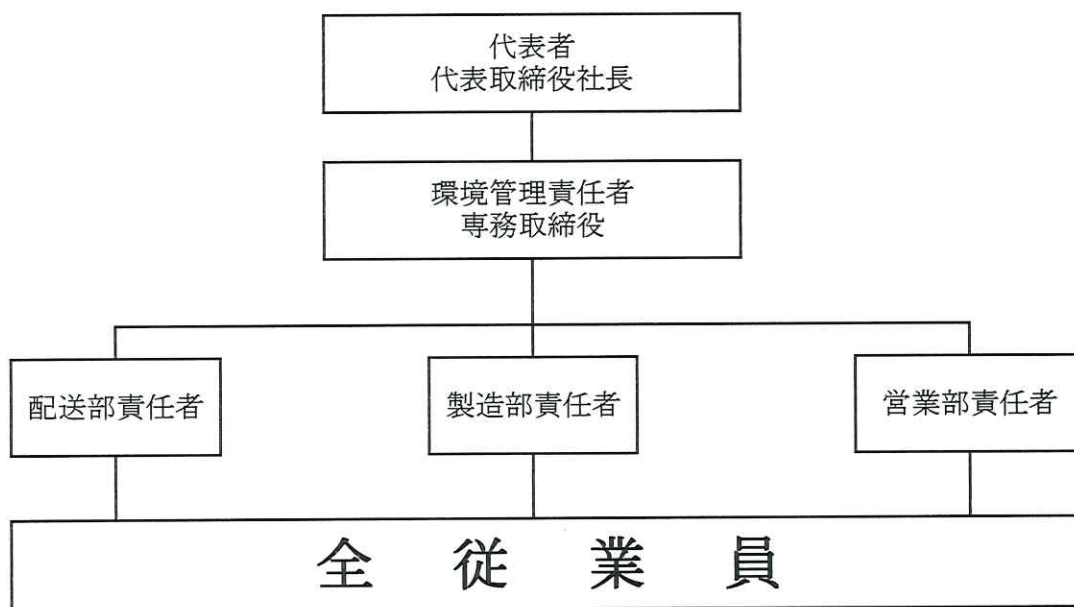


### タレットパンチプレス

村田機械 M2048TS



## 5 環境管理実施体制(組織図)



役割・責任・権限	
代表者(社長) 尾崎俊夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>人、設備、費用の準備</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 尾崎真奈美	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局 (環境管理責任者兼務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連資料の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> </ul>
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標の推進</li> <li>活動状況の把握と管理、環境事務局への報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



## 6 2023年度環境経営目標(単年度兼中期目標)

- ・中期目標は3ヶ年計画とし、2023年度から2025年度とする。
- ・環境経営目標達成度評価による目標の見直し判断は原単位目標値で行う。  
原単位評価:電力・ガソリンは、売上(百万円)、軽油は走行距離(km)当たりの原単位とする。

対象期間		2023年度～2025年度				
目標項目 (原単位目標)		基準値 基準年度2022 年度実績	目標			
			2023年度 2023.3～2024.2	2024年度 2024.3～2025.2	2025年度 2025.3～2026.2	
・売上原単位:電気、一般廃棄物 ・走行距離原単位:ガソリン、軽油		対基準値比 削減率	1%削減	2%削減	3%削減	
総 エ ネ ル ギ ー	電力削減	使用量(kWh)	228,193	225,911	223,629	221,347
		売上原単位 (kWh/百万円)	258.7	256.1	253.5	251.0
	ガソリン削減	使用量(ℓ)	3,801	3,763	3,725	3,687
		売上原単位 (ℓ/百万円)	4.310	4.266	4.223	4.180
	軽油削減	使用量(ℓ)	43,125	42,694	42,263	41,831
		走行距離原単位 (ℓ/km)	0.332	0.329	0.325	0.322
灯油使用量の管理 (ℓ数値管理のみ)		409	使用量削減	使用量削減	使用量削減	
二酸化 炭素	合計(kg-CO <sub>2</sub> ) (灯油使用量は除く)	196,297	194,334	192,371	190,408	
廃 棄 物	一般廃棄物量削減(kg)	2,790	2,762	2,734	2,706	
	産業廃棄物削減量(kg)	22,731	数値把握する	数値把握する	数値把握する	
水使用量	水使用量の削減(m <sup>3</sup> )	202.0	節水に留意し、数値把握のみとする			
環境に配慮した 項目	スキッドの再利用(定性目標)	—	スキッドの再利用を推進する。発生量は把握する			
環境に配慮した 項目	鋼板材料の端材発生抑制 (定性目標)	—	新規導入設備による鋼板材料の端材発生量を抑制する(数値把握する)			
グリーン購入推進(定性目標)		—	グリーン購入を推進する(数値把握する)			
基準年度(2022年度) 走行距離・売上実績	売上(百万円)	882				
	軽油使用車走行数(km)	129,844				

※二酸化炭素係数(kg-CO<sub>2</sub>):電気:関西電力0.334(2018年調整後)、軽油:2.58 ガソリン:2.32

※原単位目標は、基準年度の数値(金額、距離)を使用。

※PRTR法に該当する化学物質は使用していない。






※(定性目標の設定)

- ・産業廃棄物は、発生量が大きく変動するため(スキッド未使用分が主体)2022年度まで数値把握をし目標値の検討するとしていたが、ばらつきが多い。今後の目標は「削減を考慮しながら「廃棄物排出量の把握」のみとする。
- ・水使用量は過去の実績から変動が少なく「節水に留意」の定性目標とする。使用量は把握する。
- ・環境配慮項目の「スキッドの再利用」は「スキッドの再利用の推進」とし、数値把握をする。数値目標は当面設定しない。また、「鋼板材料の端材発生量の抑制」は、受注状況で変動し、数値把握は現実的でないため「発生量の抑制」とした。
- ・グリーン購入は「グリーン購入を推進する」と定性目標とする



## 7 環境経営計画とSDGs

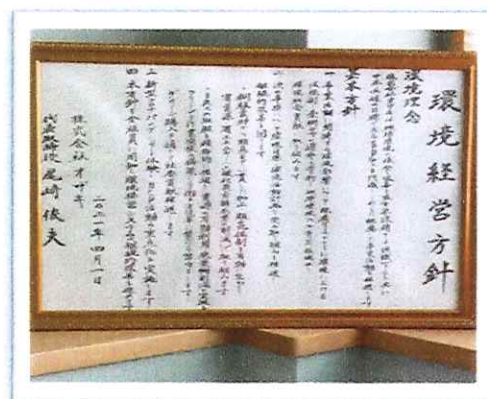
環境経営目標2023年度~2025年度に対応する

環境目標	実施事項	責任者	社会に貢献する目標 SDGs	
二酸化炭素 排出量削減	電気	空調機・照明器具の定期的な清掃・交換を する	管理責任者	  7. 全ての人に安価・ 信頼の持続可能な エネルギーの確保  13. 気候変動への緊急 対策  エネルギー使用量削減によ り、より多くの人へのク リーンエネルギーの提供と 気候変動への影響軽減に貢 献する。
		パソコンの未使用時は主電源を切る	管理責任者	
		照明を間引く	製造責任者	
		加工機の稼働開始の電力ピークの調整運転	製造責任者	
		加工機の稼働時間の把握	製造責任者	
		効率的な加工機の使用方法の検討	製造責任者	
		効率的な作業フローの検討	製造責任者	
	灯油	適正な火力による使用	製造責任者	
		使用時間の短縮(集中使用)	製造責任者	
	ガソリン	エコドライブの徹底	営業責任者	
		移動回数を減らし効率よく回る	営業責任者	
		走行距離の把握による効率的移動の実行	営業責任者	
	軽油	エコドライブの徹底	配送責任者	
		定期的な車輛整備の実施	配送責任者	
適正運搬量の検討・顧客との交渉		配送責任者		
走行距離の把握による効率的移動の実行		配送責任者		
一般廃棄物 排出量削減	裏紙活用・両面印刷・ミスコピー防止の 徹底	管理責任者	  12. 持続可能な生産・ 消費形態確保  15. 陸域生態系の保護	
	個人の廃棄物は持帰る	管理責任者		
	適切な期間での処分方法を検討する	管理責任者		
産業廃棄物 排出量削減	木製スキッドの再利用	管理責任者	 陸域における生態系への影 響削減と造る者の責任と使 う者の責任を認識した活動 を実施します	
	スキッド再利用可能品の引き取り方法の再 検討	管理責任者		
	スキッド再利用可能品と廃棄する物の分別 の徹底	製造責任者		
水道使用量削減	節水シールの貼付による節水意識の向上	管理責任者	  6. 全ての人の水と衛生の 利用の確保  14. 持続可能な海洋資源の 確保  全ての人が水と衛生の利 用を可能にするための活動 をします	
	水道配管からの漏水を定期的に点検する	管理責任者		
	使用量把握と月次管理の徹底	管理責任者		
グリーン購入の 推進	目標値の設定は行わず、環境に配慮した物 品等の購入に努める。	管理責任者	 12. 持続可能な生産・ 消費形態確保  原材料の削減・物のリサイ クルを意識して活動します	
その他環境に配慮し た環境項目	・スキッドの再利用推進 ・鋼板端材の発生抑制	製造責任者	  11. 住み続ける町づくり  15. 陸域生態系の保護	
クリーンな作業環境 の確保	全従業員による工場周りとう工場内の定期清 掃の実施	管理責任者	 持続可能な都市・居住の実 現と陸域の生物多様性の確 保を目指します	



## 8 取組事例紹介

### 環境経営方針の周知、取り組み等の掲示



清掃活動



消防団と自治会との避難訓練





## 9 2023年度 環境経営目標・環境経営計画の実績・評価

環境目標：電気・ガソリンは売上原単位。軽油は走行距離原単位。

### 1)経営目標実績

目標達成評価：○ ≤ 目標値、 × > 目標値

対象期間		2022年3月～ 2023年2月 (基準値)	2023年3月～2024年2月		対目標 比率 (%)	達成評 価	
目標項目 (単位)			目標(基準比削減率)	実績			
<b>(削減目標)</b>							
エ ネ ル ギ ー 削 減	電力削減	使用量(kWh)	228,193	225,911	239,105	106%	×
		売上原単位 (kWh/百万円)	258.7	256	282	110%	×
	ガソリン削減	使用量(ℓ)	3,801	3,763	1,141	30%	○
		売上原単位 (ℓ/百万円)	4.310	4.266	1.347	31.6%	○
	軽油削減	使用量(ℓ)	43,125	42,694	40,758	95%	○
		走行距離原単位 (ℓ/km)	0.332	0.329	0.327	99%	○
二酸化炭素 排出量削減	合計(kg-CO <sub>2</sub> ) (灯油使用量を除く)	196,297	194,334	187,664	97%	○	
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減(kg)	2,790	2,762	2,210	80%	○	
<b>(数量把握目標)</b>						基準比	
数 量 把 握	灯油使用量削減 (ℓ)	409	数値把握	466	114%		
	産業廃棄物排出量(kg)	22,731	数値把握	26,180	115%		
	水使用量(m <sup>3</sup> )	202.0	数値把握	275.0	136%		
<b>(定性目標)</b>						結果	
環 境 に 配 慮 し た 項 目	スキッドの再利用(定性目標)	—	スキッドの再利用を推 進する	可能な範囲で再利用し た(今後も数量把握す る)		○	
	鋼板の端材の発生抑制 (定性目標)	—	新規導入設備による鋼 板材料の端材発生量 を抑制する(数値把握 する)	可能な範囲で再利用し た(今回、数値は出来な かったので、今後把握し 数値表記したい)		×	
グリーン購入推進(定性目標)	—	購入の推進	可能な範囲で購入でき た(今後も数量把握す る)		○		
<b>基準比</b>							
売上金額(百万円)		882	—	847	96%		
軽油車走行距離(km)		129,844	—	124,800	96%		

※各計算条件等は「環境経営目標(単年度兼中期目標)」に同じ

※ガソリンの原単位は走行距離で評価する予定であったが、走行距離の集計の課題があり、2023年3月～2025年2月の中期目標期間は売上原単位とし、この間にガソリンの距離原単位データの検証をしたい。

## 2)環境経営目標実績評価

エネルギー	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量は前年度と同じような傾向であり、機械稼働時間が10%ぐらい増えているので効率が向上していることも考えられるが目標は未達成となった。</li> <li>・前年度の売上の割合は卸売、製品加工で各50%だったが今年度は卸売40%、製品加工60%と事業形態の改革による変動が当面続くことが予測される。今後、中期経営目標の推移を見ながら目標設定の検討をしたい。</li> </ul>
	化石燃料使用量削減 (ガソリン・軽油)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリンについては、営業活動の再検討による営業訪問頻度の減少で使用量は目標比30%に減少したため、売上原単位目標とも目標達成の結果となった。</li> <li>・軽油に関しても、使用量は目標値以下であり、走行距離原単位でも目標達成した。その要因は、商品(鋼板)の販売比率を下げた経営に改善してきた効果であると考ええる。</li> <li>・ガソリンについては、今後の走行距離原単位への移行を目指す。(今中期目標期間は売上原単位を想定している。)</li> </ul>
二酸化炭素排出量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力使用量が増加したものの、CO2負荷の最も大きい軽油使用量の減少とガソリンの激減による結果として、目標は達成した。</li> </ul>
廃棄物	一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度は4月の一般廃棄物排出量が多かったが、2023年度は5月の保管書類の整理や年末から年初にかけての大掃除による廃棄物の排出が多かった。</li> <li>・年度末書類整理による経理関係書類の廃棄状況や、年末の大掃除等により発生する今後の廃棄物発生予測をするための当面、一般廃棄物の発生状況の把握を継続してゆく。</li> </ul>
数量把握項目	灯油使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油については使用量はわずかに増えているが作業場を新設したため暖房器具の増設で使用量も増えたと考えている。</li> </ul>
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物も大幅に増加した。引き取りスキッド処分や9～10月の不要物の排出による廃棄物増加が影響した。</li> <li>・今後とも廃棄物管理には注視しながら、削減に努めたい。</li> </ul>
	水使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度の水道使用量は3月～7月にかけて増加。</li> <li>・3月～5月は洗浄が必要な受注加工製品の増加による影響と考えていたが6～7月の増加を検証のため、配管等の漏れ検査をしたところ、配管漏れが確認されていて策を打った。その後の使用量は定量的な状況である。</li> <li>・今後とも、水使用量推移に留意し確認を早めにする必要がある。</li> </ul>
定性目標 (環境に配慮した目標)	スキッドの再利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り有用なスキッドの引き取りを行ってはいるが、引き取り先の意向もあり、スキッドの廃棄量にばらつきがあるが回収後のスキッドは出来るだけ有効利用すべく努力した。</li> <li>・今後ともこの傾向(大きな変動)があることはやむを得ないと考えている。</li> </ul>
	鋼板端材の発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注先の支給材料や、切断方法の要請もあり、当社独自での鋼板切断方法の決定に課題はあるが、出来るだけ鋼板端材を発生しないよう意識しながら作業を実施した。</li> <li>・今後とも可能な限りの端材発生を抑制していく。</li> </ul>
	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入対象品の有無や価格面での課題もあるが、グリーン購入を意識した事務用品等の購入を推進する。</li> </ul>



# 10 2023年度経営計画・SDGs 実施結果・評価

評価  
活動実施 ○  
活動不十分 ×

環境目標	実施事項	社会に貢献する 目標 SDGs	活動の実施結果に対する評価	
二酸化炭素 排出量削減	電気	加工機の稼働開始の電力ピークの調整運転	 	<p>(評価：各活動項目実施○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標の結果に対する考察でも記載したが、事業形態の改革を実施しており、商品販売を抑えて加工製品を主体に事業運営する方向で進めている。また、顧客の要求を優先とした活動を実施することにより、電気、車両燃料とも効率的な活動が取りにくかったがその環境の中で、可能な範囲で顧客と交渉し、纏め運送や不要設備の電源オフ、工程の見直し等徹底した結果、従来以上に削減活動意識が向上したことは今後の活動にとって期待できると思う。</li> <li>今後も当面は現状の活動を継続しながら、アフターコロナの社会環境と顧客のニーズを注視して行く。</li> <li>SDGsに関する活動としては、現状活動とSDGsの関係を意識しながら実行したい。</li> </ul>
		加工機の稼働時間の把握		
		効率的な加工機の使用法の検討		
		効率的な作業フローの検討		
	灯油	適正な火力による使用		
		使用時間の短縮(集中使用)		
	ガソリン	エコドライブの徹底		
		移動回数を減らしたり効率よく回る		
		走行距離の把握による効率的移動の実行		
	軽油	エコドライブの徹底		
		定期的な車輛整備の実施		
		適正運搬量の検討・顧客との交渉		
走行距離の把握による効率的移動の実行				
一般廃棄物 排出量削減	裏紙活用・両面印刷・ミスコピー防止の徹底	 	<p>(評価：各活動項目実施○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物、産業廃棄物共、社内保管物とその量の洗い出しを継続しているが、今後とも発生する定期的整理、清掃時の廃棄物量の傾向把握をしていく。</li> <li>その結果を踏まえて、今後の具体的な管理方法の見直しをしたい。</li> <li>活動項目は、継続する。</li> <li>SDGsに関する活動も継続実施する。</li> </ul>	
	個人の廃棄物は持帰る			
	適切な期間での処分方法を検討する			
産業廃棄物 排出量削減	木製スキッドの再利用		<p>(評価：各活動項目実施○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度の水道水の使用量増の大きな要因は配管からの漏水にあった。</li> <li>2024年度は、「水洗の必要な製品」加工の工程が無くなったので、冬期の凍結防止方法、配管の漏れチェックを適切に実施し、水使用量の削減対策を実行したい。</li> </ul>	
	スキッド再利用可能品と廃棄する物の分別の徹底			
水道使用量削減	節水シールの貼付による節水意識の向上	 	<p>(評価：各活動項目実施○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境への配慮項目として掲げた活動計画は可能な限り実行し、SDGs目標への貢献はできたと考える。</li> <li>ただ、鋼板の端材発生抑制は、意識して活動したが、数量把握は出来なかった。</li> <li>これらの活動は継続する。</li> </ul>	
	水道配管からの漏水を定期的に点検する			
	使用量把握と月次管理の徹底			
グリーン購入の 推進	目標値の設定は行わず、環境に配慮した物品等の購入に努める。		<p>(評価：各活動項目実施○、鋼材の端材×)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境への配慮項目として掲げた活動計画は可能な限り実行し、SDGs目標への貢献はできたと考える。</li> <li>ただ、鋼板の端材発生抑制は、意識して活動したが、数量把握は出来なかった。</li> <li>これらの活動は継続する。</li> </ul>	
その他環境に配慮した 環境項目	スキッドの再利用推進			
	鋼板の端材発生量の抑制			
クリーンな作業環境の 確保	全従業員による工場周りとう工場内の定期清掃の実施			

## 11 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1) 【環境関連法等の遵守状況の確認及び評価】

①当社に適用となる主な環境関連法規制	順守評価
・廃棄物処理法	○
・家電リサイクル法	○
・自動車NO <sub>x</sub> /PM法	○
・水質汚濁防止法	○
・騒音・振動規制法	○
・フロン排出抑制法	○
・岐阜県公害防止条例	○
・岐阜県廃棄物の適正処理等に関する条例	○
その他	○

### ②遵守状況評価結果

弊社への環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、順守されていることを確認しました。

### 2) 【違反及び訴訟の有無】

・弊社は、過去3年間、環境に関する苦情、関係当局等からの指摘、関連法規への違反及び訴訟はありません。

## 12 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・2023年度の事業経営は、兼ねてからの事業経営方針の変更も含め、改善・良化傾向にある。
- ・環境経営活動も総じて良好であり、従業員の環境への取組努力を評価したい。
- ・今後は新設設備の効率的稼働を含め、更なる事業経営形態の改善と共に、環境活動の取組改善に向け、全従業員が一致した活動をとれるよう経営的立場からのフォローを行いたい。
- ・環境経営システム、経営方針、環境経営目標、経営計画、実施体制等は現状で維持する。
- ・尚、環境経営方針、環境経営目標、経営計画の見直しは、次年度に実施する。

